

MUSASHINO MUNICIPAL ASSEMBLY

武蔵野市議会だより

No.315

発行日 平成17年(2005年)8月1日

発行 武蔵野市議会
東京都武蔵野市緑町2-2-28
TEL 0422-60-1883(直)
FAX 0422-55-7555

CONTENTS

- 議員による一般質問 ……2-3面
- 新しい常任・特別委員会委員 ……3面
- 議案の審議結果 ……4面
- 陳情審議結果 ……4面
- 新しい議会運営委員会・議会広報委員会委員 ……4面
- 新しい会派構成 ……4面

第二回市議会定例会閉会

平成十七年六月一日から二十一日間の会期で開かれた第二回定例会は、六月二十一日に閉会しました。今議会では、正副議長・監査委員の改選と、議会運営委員会委員、各常任委員会委員、議会広報委員会委員、各種委員の選出などの議会人事がありました。また、十四人の議員からの一般質問や、武蔵野市奨学金支給条例の一部を改正する条例等、十件の議案の議決、二件の議員提出議案の議決などが行われました。

議長に山下倫一氏 副議長に深沢達也氏

六月二日の本会議では、田中議長より提出された辞任願が承認され、直ちに議長の人選に入りました。投票の結果、山下倫一氏、各会派の話し合いの後に選挙が行われました。投票の結果、山下倫一議員二十四票、大野まさき議員三票、白票三票となり、山下議員(市

議会市民クラブ)が第三十八代の議長に選出されました。続いて露木副議長から辞任願が提出され、これを承認後直ちに選挙に入り、その結果、深沢達也議員二十七票、白票三票となり、深沢議員(民主・市民ネット)が副議長に選出されました。



議長 山下倫一

地方分権一括法の施行や三位一体の改革などが進む中、地方自治体の特色が出せる自主性が一層強く求められる時代となっています。そのような中、責任の重さを考えると身の引き締まる思いで議長に就任いたしました。議会運営にあたっては、言論の府としての議会をさらに活発な良識ある議論が行われ、行政のチェック機能、議決機能としての権能を高めることが私に課せられた責務と考えます。また、0123やムーバス等々全国に先駆けた施策を次々に実施している本市にあつて、市民の皆様の行政に対する関心も高く、より一層開かれた議会情報の提供に力を入れていく所存です。

皆様のご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



副議長 深沢達也

副議長に就任し真実身の引き締まる思いです。

地方自治法第106条「議長の代理及び仮議長」にもとづき、議長を補佐し副議長の為すべき職務を全うするため最善の努力を尽くしたいと存じます。

日本も世界も時代の大きな曲がり角にあつて、国や社会の未来の姿、これからの地域社会はどうあるべきか、いまだ不透明ななかで、国政、地方政治を問わず、政治の果たすべき役割と責任は大きいと考えます。

未来へむけた武蔵野市のまちづくり、地域社会づくりへむけ、立法院である市議会での新たな提案やビジョン、行政案に対する対案がいつそう活発に議論され、市民とともに歩む武蔵野市議会の姿を発展させるため、精進したいと存じます。



Photo Gallery

フォトギャラリー

市議会だよりは、市民のみなさんからの公募写真を1面に掲載しています。次回の応募要領については、4面をごらんください。



「神田川の夏」

撮影：榎本 敬三
(武蔵野市 83歳)
場所：井の頭公園
(2005.7.3)

自然のなかで遊んでいる子どもたちの姿に出会い、シャッターを押しました。自然のすばらしさは心に残るものです。子どもたちには、月に1回でも2回でもいいので、外に出てもらいたいと思いました。

献血者の減少に歯止めを

きくち太郎議員

問 輸血事業が、安全な血液確保のために献血制限を余儀なくされ、また、若年層の献血離れが顕著であるために厳しい局面にあるが、本市の献血の推進についての取り組みを伺う。

答 これまで献血の推進に一番効果があったのは、吉祥寺タキオンが設置されたことだ。今後、献血推進協議会等のPRを兼ねて、市報、その他で市民に呼びかけていく。

問 PTAの会合を共働きや多くの父親が参加しやすいよう、夜間等に開催できないか。

答 PTA活動は自主運営・自主活動が基本であり、学校はPTAと密接な関係を保ちながら、活動日などを校長が決定している。

さらなる緑化の可能性を問う

砂川なおみ議員

問 本市の緑をこれ以上減らさぬよう、公共用地の緑化を行うべきと考えるが見解は。

答 公共の駐車場等は利用頻度が高く、防災・災害対策の面からも緑化は難しいと考える。学校ではビオトープの設置、屋上緑化などを進めており、校庭の芝生化を含め、今後慎重に研究していきたい。

問 都立武蔵高校の中高一貫化については情報が少なく、児童や保護者から進学準備に悩む声があるが本市の対応を伺う。

答 本市の指導監督権の及ぶところではないが、同校の中等部と市内の市立中学校との音楽・スポーツを通じた交流や施設の相互利用などで連携していく方向だ。

育児休業後の職場復帰に向けた環境整備を

田辺あき子議員

問 子どもの教育を担う教職員が最長3年間の育児休業後スムーズに職場復帰できる支援体制が必要だ。本市の取り組みを伺う。

答 休業期間中でもあり、制度化は難しいが、女性教職員の育児休業後の円滑な職場復帰は非常に大きな課題だ。各市の状況を踏まえ、今後検討したい。

問 通称・みずき通り、亜大通りの一部は、雨や雪の日に大変滑りやすく、危険である。歩道の路面改修について市の見解を伺う。

答 歩道の滑り抵抗値は基準の範囲内だが、苦情箇所は、方法を具体的に調査したい。このほか、消費者行政の促進、育児相談窓口の拡大についての質問がありました。

本市の個別事務事業評価さらなる向上を

川名ゆうじ議員

問 行政評価とは、政策や施策事務事業について、一定の基準・指標で妥当性や達成度を判定するものとされているが、本市で実施されている個別事務事業評価について、①導入によってどのような効果があったのか②評価のアウトプット、アウトカムとは何か③今後は政策評価も行うべきではないか。

答 ①職員のコスト意識向上、市民への説明責任などのメリットがある反面、作業負担の増大というデメリットがある②前者は事務・事業の活動結果、後者はそのことによる成果③市議会や市民が行うべきだ。このほか、本市のWebサイトについての質問がありました。

多発する住民基本台帳の悪用閲覧本市の対応は

金子 武議員

問 住民基本台帳の閲覧の悪用が大きく報道されているが、①業者等の閲覧に対する対策を伺う②業者等の閲覧抑制のため、手数料を本年4月より値上げしたが、閲覧件数に変化はあったのか③熊本市では、業者等の閲覧を拒絶するために条例を設けたが、本市でも同様の制定をすべきではないか。

答 ①「安全・安心の窓口サービスのあり方を考える委員会」を設け研究中②業者による閲覧は4月0件、5月1件で去年より減った③法の安定性から難しいと考える。手数料値上げや本人確認等で対応したい。このほか、市役所のITセキュリティ対策についての質問がありました。

美しい公園を守り、はぐくむために

深沢達也議員

問 美しいまちをつくる一環として、美しい公園を守り、はぐくむ必要があると考えるが、①市民と行政のパートナーシップによる取り組みについて伺う②学校教育においても、公園など公共財に対するマナーを養うことが肝要と考えるが現状について伺う。

答 ①149カ所の市立公園のうち13カ所はボランティアと市が協働で管理している。今後も地域住民と連携していきたい②地域の公園を学習やボランティア活動の場として積極的に活用し、公共施設や公共物を大切にす意識やマナーの育成を図りたい。このほか、花見シーズンの井の頭公園の管理についての質問がありました。



鉄道対策・農水省跡地利用/外環道路の両特別委員会 設置期限を延長
「鉄道対策・農水省跡地利用/外環道路」の両特別委員会は、6月議会で設置期限が切れるため、6月2日の本会議で2年間の活動報告の後、平成19年3月定例会最終日まで期限延長し、継続して活動していくことが決まりました。鉄道対策・農水省跡地利用特別委員会は、高架橋々線問題、高架下付帯する空間については、今後も事業の進捗を監視していく必要があるため、新公共施設及び公園については、具体的に今後さらに検討する必要があるため、継続して審査・検討することにしました。外環道路特別委員会では、今後も引き続き外環道路建設計画の動向を見据えつつ、地元住民の意見を尊重しつつも、地下方式を前提とした計画の調査・検討を進めていく必要があるため、継続して審査・検討することにしました。

桜堤団地建てかえの基本協定守られるのか

本間まさよ議員

問 都市公団が都市再生機構となったことに伴い、桜堤団地の建てかえ事業は、当初計画されていた「戻り入居者以外の住宅」の建設が困難となったが、①機構から説明はあったのか②本市と公団との間で交わされた基本協定は今後も堅持できるのか③高齢者控除の廃止等で家賃負担が大きくなるが、国に対して働きかけをすべきでは。

答 ①民間に対して、土地の移譲等を行う意向と聞いている②機構が土地を民間分譲したとしても協定内容は継承されると考える③平成20年度までは減額措置がある。このほか、都政問題、公正な選挙についての質問がありました。

公共工事から談合をなくすため入札制度の改革を

山本ひとみ議員

問 本市が発注する工事請負契約について、①過去5年間の平均落札率は②うち一般競争入札の平均落札率と件数は③公正な競争を促し、落札率を下げられるため、指名競争入札をなくし、一般競争入札の範囲を拡大することが必要と考えるが、見解は。

答 ①92.74%②92.23%の1件③大事なことは設計価格が適正なこと、妥当な価格だ。

問 障害児を持つ共働き世帯やひとり親家庭の支援について、十分な対応を求めます。

答 むくむく等の放課後対策、地域子ども館を初め、要件を満たせば学童クラブの入所も可能であり、様々な支援を行っている。

一般質問



第2回定例会で、1日目、2日目の6月1日、2日市政全般について、14名の議員から一般質問が行われました。この中から質問項目を要約して掲載します。詳しくは、各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所の市政資料コーナーに置いてある会議録(8月下旬発行予定)、または武蔵野市議会ホームページの会議録検索(第2回定例会分は8月16日登録予定)でご覧いただけます。

※一般質問とは、議員がその属する地方公共団体の行政全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告を求め、または疑問を質することをいいます。

詳しい内容はこちらのアドレスから検索いただけます。
<http://kensakusv.city.musashino.tokyo.jp/kaigiroku/>

暴走自転車対策に罰則適用は可能か

大野まさき議員

問 最近の新聞報道によれば、罰則を科すことも念頭に本市が暴走自転車対策条例案づくりに着手するとのことだが、どうなるのか。

答 過料と異なり、罰金にした場合は警察職員の立ち会いが必要な上、道路交通法とのすり合わせもあり、丁寧に検討していきたい。

問 本市の市民や隣接区市民が、基本検診を相互に受けられる医療機関の提携について、検討しないのか。

答 他区市と本市とでは、検査項目が異なる等の理由があり、考えていない。このほか、建築確認に臨む本市の姿勢、PTA活動と保護者側の負担等についての質問がありました。

地域の中高生の居場所づくり本格的な検討を

向谷千鳥議員

問 青少年施策の充実のため、地域の中高生が放課後をどのように過ごしているのか、意識や生活の実態を調査する考えは。

答 今後の課題としたい。

問 中高生の居場所をつくるため、①専用施設の設置や児童館等の既存の施設を中高校生向けに時間延長・日曜開所する考えは②中高生の主体的な活動を活性化するため、中高生の意見を聴く場を設ける考えは。

答 ①中高生の行動範囲は広い。施設を設置し、子どもを対象とした児童館を開放すれば、そこに集まって満足してくれるというものでもない②総合体育館や市民文化会館等での中高生の自主的な活動を尊重したい。

都立武蔵野中央公園内スポーツ広場の改修計画について

桑津昇太郎議員

問 改修により利便性の高まる中央公園内スポーツ広場であるが、①不特定多数の利用者に維持管理の協力を得るための具体策を伺う②屋外スポーツ施設として休憩所や日よけ場所等の整備が必要ではないか。

答 ①看板設置等、今後対応を考えていきたい②公園一般利用者で共用できる日よけ場所の設置について都と協議を続けたい。

問 自転車等総合計画について、①自転車走行のマナー向上のための取り組みについて伺う②ムーブスの連携等、交通体系全体を計画の視野に入れるべきではないか。

答 ①暴走自転車対策の条例制定等、ルール化していく②今後、よく研究していきたい。

いつまでもいきいきと過ごすための高齢者サービスを

土屋美恵子議員

問 高齢者サービスについて、①緊急一時生活支援ヘルパーが必要と考えるが、市の対応を伺う②寝たきり高齢者等のおむつの貸与・給付の現況と、入院時のおむつ代の助成を行っているか伺う③高齢者住宅について、民間住宅の斡旋を行っているか伺う。

答 ①緊急の場合、在宅介護支援センターが即対応し、サービス提供者につないでいる②平成16年度は延べ426件、現物支給を行ったが、おむつ代の助成は考えていない③民間制度の高齢者同居支援事業について住宅対策課で説明を行っている。このほか、暴走自転車対策、たばこのポイ捨て禁止区域等についての質問がありました。

今後の図書館サービスをどのように変えていこうかが見えない

三宅英子議員

問 3つの図書館運営を指定管理者制度に移行させる前に、①今後の図書館運営のポリシーを構築することが不可欠で、検討委員会の設置などが必要と考えるがどうか②図書館運営の実績のない(財)スポーツ振興事業団を指定管理者にするとのことだが、ノウハウがないのに運営できるのか。

答 ①新公共施設の建物の設計と並行させながら、今後具体的な議論に入っていき②同事業団の具体的な運営方法やどのようなプロセスを進めるかについても今後の検討課題である。このほか、情報公開のあり方や審議会等の公募委員の拡充等についての質問がありました。



▲6月3日、本会議で議長選挙及び副議長選挙が行われました。(写真は副議長選挙の投票の様子です。)

新しい常任委員会委員・特別委員会委員が決まりました。

武蔵野市議会の四常任委員会・議会運営委員会・議会広報委員会委員の任期は、一年と定められています。また、両特別委員会の設置期限は、平成十七年六月定例会の最終日までとなっていましたので、六月二日の本会議において設置期限が延長されました。各委員の任期満了等に伴い、六月六日の本会議において、新たな委員が議長より指名され、同日各委員会が開催され、正副委員長などが決まりました。新しい委員は次のとおりです。

※議会運営委員会、議会広報委員会の新メンバーは四面に掲載。

常任委員会

文教委員会

◎島崎 義司 ○小野 正二
きくち太郎 向谷 千鳥
桜井 和実 松本 清浩
土屋美恵子 ◎印：委員長 ○印：副委員長

建設委員会

◎小林 清章 ○桑津昇太郎
近藤 和義 鈴木 有臣
大野まさき 深沢 達也
露木 正司 ◎印：委員長 ○印：副委員長

特別委員会

外環道路特別委員会

◎金子 武 ○小林 清章
やすえ清治 梶 雅子
近藤 和義 大野まさき
川名ゆうじ 寺山光一郎
水野 学 ◎印：委員長 ○印：副委員長

総務委員会

◎水野 学 ○与座 武
本間まさよ 田中 節男
三宅 英子 川名ゆうじ
井口 良美 石井 一徳
◎印：委員長 ○印：副委員長

厚生委員会

◎寺山光一郎 ○やすえ清治
田辺あき子 梶 雅子
山本ひとみ 砂川なおみ
金子 武 山下 倫一
◎印：委員長 ○印：副委員長

鉄道対策・農水省跡地利用特別委員会

◎田辺あき子 ○砂川なおみ
きくち太郎 島崎 義司
本間まさよ 向谷 千鳥
三宅 英子 川名ゆうじ
土屋美恵子 ◎印：委員長 ○印：副委員長

第2回定例会で可決された意見書は1件で、政府へ提出されました。その要旨は次のとおりです。

次の事項の見直しを要望する。
一、モーターボート競走法の改正により、日本船舶振興会への一号・二号交付金及びモーターボート競走会交付金の軽減を行うこと。
二、公営企業金融公庫納付金を廃止すること。
(内閣総理・総務・国土交通大臣あて)

モーターボート競走法の改正及び公営企業金融公庫納付金制度の廃止を求める意見書

政府へ 意見書

議会運営委員会・議会広報委員会の新メンバーが決まりました。

前列左より 副委員長 寺山委員 石井委員長 小林委員
後列左より 本委員 本間委員 田中委員 近藤委員 川名委員 大野委員



◎石井 一徳 ○小林 清章
◎本間まさよ ○近藤 和義
◎田中 節男 ○大野まさき
◎松本 清治 ○川名ゆうじ
◎寺山光一郎

◎印：委員長 ○印：副委員長

前列左より 副委員長 寺山委員 やすえ委員長 松本委員
後列左より 本委員 三宅委員 水野委員 島崎委員



◎やすえ清治 ○松本清治
◎きくち太郎 ○島崎義司
◎小林清章 ○梶 雅子
◎三宅英子 ○寺山光一郎
◎水野 学

◎印：委員長 ○印：副委員長

議案の審議(可決・同意)結果一覧

第2回定例会

【市長提出議案(10件)】

- 武蔵野市組織条例の一部を改正する条例 可決(賛成多数)
武蔵野市非常勤消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
武蔵野市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
武蔵野市奨学金支給条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
平成17年度武蔵野市一般会計補正予算(第1回) 可決(全会一致)
平成17年度武蔵野市老人保健(医療)会計補正予算(第1回) 可決(全会一致)
平成17年6月における武蔵野市議会議員の期末手当に関する条例 可決(賛成多数)
平成17年6月における武蔵野市特別職等の職員の期末手当に関する条例 可決(賛成多数)
平成17年6月における武蔵野市一般職の職員の期末手当に関する条例 可決(全会一致)
武蔵野市監査委員の選任の同意について 同意(賛成多数)

【議員提出議案(2件)】

- モーターボート競走法の改正及び公営企業金融公庫納付金制度の廃止を求める意見書 可決(全会一致)
武蔵野市議会委員会条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)

議会選出監査委員に 鈴木有臣氏

鈴木有臣議員(自由民主クラブ)を監査委員に選任することと同意を求める議案が6月9日の本会議で、賛成多数で同意されたため、同議員が監査委員に選任されました。

監査委員の選任は、地方自治法第九十六条第一項の規定により行うもので、「監査委員は、普通地方公共団体の長が、議会の同意を得て、人格が高潔で、普通地方公共団体の財務管理、事業の経営管理その他行政運営に関し優れた識見を有する者及び議員のうちから、これを選任する。」とされています。



全員協議会

6月6日に、議会人事について、全員協議会が開催されました。

陳情 審議結果

継続分の不採択

武蔵野市公立保育園改革評価委員会に関する陳情
「市場化テスト」や「給与構造見直し」に反対する意見書提出に関する陳情

継続

「浜岡原発震災」における子どもと妊婦のための放射能災害対策に関する陳情
障害を持つ子どもたちの学童クラブ入所資格の緩和に関する陳情
旧農水省跡地利用計画について市民への説明会開催に関する陳情
建築審査会裁決に基づく実施内容公表に関する陳情
事業にかかわる支出金額の広報に関する陳情
農水省跡地利用施設事業にかかわる議論・検討に関する陳情



INFORMATION

永年勤続議員表彰

4月21日開催の関東市議会議長会定期総会及び、5月25日開催の全国市議会議長会定期総会において、永年勤続議員として次の議員が表彰され、その伝達式が6月1日の本会議で行われました。

- 20年以上勤続 水野 学 ●10年以上勤続 露木 正司

1面写真募集要領 次回の締切9月22日

- 規格：六つ切(紙焼き)、カラー。二重応募(他のコンテスト等に応募した作品の応募)は禁止、未発表・未公開のオリジナル作品に限ります。写真は編集上、トリミングすることがあります。
内容：武蔵野市内の風景(明らかに人物を特定できる場合は、ご本人の了承を得てください)。
審査：議会広報委員会が審査します。
発表：採用された作品は、11月1日発行の市議会だよりに掲載します。
著作権：作品の著作権は製作者本人に帰属します。ただし、6カ月間、他媒体での発表等をご遠慮いただくことを、作品採用の条件といたします。
期限：9月22日(金)当日消印有効
添付書類：撮影者の住所・氏名・年齢・電話番号・撮影年月日・撮影場所・作品名を写真裏面に記載し、郵送にてご応募ください。なお、採用された場合、後日作品のコメントをいただくことがあります。



宛先：〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 武蔵野市議会事務局 市議会だより係
問い合わせ：☎0422-60-1883

会派構成が新しくなりました

市民の党に所属していた大野まさき議員が会派を離脱したこととともない、同会派は消滅し、5月26日付で新しい会派、むさしのリニューアルが結成されました。会派構成は以下のとおりです。
会派とは、市政について、同じような考えや意見を持っている議員のグループで、今後の議会活動の1つの基盤となります。
(氏名は議席番号順、電話番号は会派控室(市役所7階)の直通電話番号です)

- 自由民主クラブ TEL60-1884
やすえ清治 きくち太郎 島崎 義司
近藤 和義 鈴木 有臣 田中 節男
井口 良美 石井 一徳 金子 武
日本共産党武蔵野市議団 TEL60-1888
梶 雅子 向谷 千鳥 本間まさよ
むさしのリニューアル TEL60-1890
三宅 英子 大野まさき
民主・市民ネット TEL60-1889
松本 清治 砂川なおみ 川名ゆうじ
深沢 達也 露木 正司 水野 学
無会派議員(男性) TEL60-1886
桜井 和実
市議会市民クラブ TEL60-1885
山下 倫一 土屋美恵子 与座 武
桑津昇太郎 寺山光一郎
無会派議員(女性) TEL60-1909
山本ひとみ

議会事務局
◎議会だよりへの御意見、御要望をお聞かせ下さい。
TEL 0422-60-1883
E-Mail OFC-GIKAI@city.musashino.tokyo.jp
HomePage http://www.city.musashino.tokyo.jp/assembly/

※with youは今回お休みいたします。